

世界は僕らに気づかない

世界で一番嫌いな人
世界で一番愛する人



Angry son

脚本・監督：飯塚花笑

掘家一希 ガウ

篠原雅史 村山朋果 森下信浩 宮前隆行 田村菜穂 藤田あまね 鈴木咲莉

加藤亮佑 高野恭子 橘芳美 佐田佑慈 竹下かおり 小野孝弘 関幸治 長尾卓磨 岩谷健司

2022年/日本/カラー/シネマスコープ/5.1ch/112分 ©「世界は僕らに気づかない」製作委員会



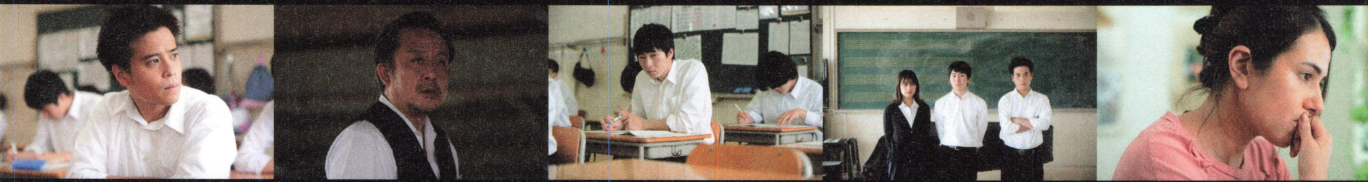
<https://sekaboku.lespros.co.jp/>

異なる文化を持った母親への息子の眼差しであり、 “愛の問題”についての物語

群馬県太田市に住む高校生の純悟(堀家一希)は、フィリピンバブに勤めるフィリピン人の母親レイナ(ガウ)と一緒に暮らしている。父親のことは母親から何も聞かされておらず、ただ毎月振り込まれる養育費だけが父親との繋がりとなっていた。純悟には恋人の優助(篠原雅史)がいるが、優助からパートナーシップを結ぶことを望まれても、自分の生き様が引け目となり、なかなか決断に踏み込めず、一人苛立ちを抱えていた。そんなある日、レイナが再婚したいと、恋人を家に連れて来る。見知らぬ男と一緒に暮らすことを嫌がった純悟は、実の父親を探すことにするのだが…。



トランスジェンダーである自らの経験を元に制作した『僕らの未来』が国内外で注目を集め、2022年公開の『フタリノセカイ』で商業デビューを果たした飯塚花笑監督が、レプロエンタテインメント主催の映画製作プロジェクト「感動シネマアワード」にて制作したオリジナル長編第五作。8年の構想期間を経て結実した本作の主人公・純悟を任されたのは、『東京リベンジャーズ』(‘21年/英勉監督)でのパーちゃん役など、その存在感ある演技が輝く堀家一希。複雑なバックグラウンドを抱える難しい役柄かつ映画初主演という重圧もある中で、飯塚監督との深いコミュニケーションと共に丁寧に役作りをした結果、悶々として自分の本当の感情を吐露できない純悟を見事に演じきっている。息子である純悟への深い愛情を抱きつつ、感情的に敵しい態度もとってしまう母親・レイナを演じるのは、スコットランド人の父親とフィリピン人の母親を持つガウ。本格的な演技は初挑戦ながら、観客の視線を釘付けにするパワフルな演技を披露している。2022年の大阪アジア映画祭でワールドプレミアを迎え、“来るべき才能賞”を受賞。その後ドイツ、韓国、ニューヨーク、香港、オランダなど世界各地で高評価を得て遂に日本公開。



堀家一希 ガウ 篠原雅史 村山朋果 森下信浩 宮前隆行 田村菜穂 藤田あまね 鈴木咲莉 加藤亮佑 高野恭子 橘芳美 佐田佑慈 竹下かおり 小野孝弘 関幸治 長尾卓磨 岩谷健司
脚本・監督：飯塚花笑 エグゼクティブプロデューサー：本間憲、和田有啓 プロデューサー：菊地陽介、山田真史、飯塚花笑 協力プロデューサー：志尾睦子、佐久間由香里
撮影：角洋介 サウンドデザイン：紫藤祐弥 音楽：佐藤那美 編集：阿部誠 ヘアメイク：浅井美智恵 衣裳：村上久美子 スチール：水津惣一郎 脚本監修：中島弘象
助監督：緒方一智 制作担当：久保智彦 宣伝美術：unnoticed 製作：レプロエンタテインメント 配給：Atemo
2022年/日本/カラー/シネマスコープ/5.1ch/112分 ©「世界は僕らに気づかない」製作委員会 ホームページ：<https://sekaboku.lespros.co.jp/> Twitter：@sekaboku_movie

2023年1月13日(金)より全国ロードショー
前売特別鑑賞券1,400円(税込) 絶賛発売中!!!

JR新宿駅南口GAP並び NOWAビルB1F
新宿 シネマカリネ
03(3352)5645
<http://qualite.musashino-k.jp/>
全席指定/入替制

渋谷・東急百貨店本店ヨコ
Bunkamura ル・シネマ
03(3477)9264 www.bunkamura.co.jp